

(別紙1)

単元名 風やゴムのはたらき(9時間)

学習指導要領の項目 A(2)ア(ア)(イ)イ

主な学習活動	時間	重点	記録	検討改善	備考
風ので動く車を、うちわであおいて車を動かす。 車を動かしてみ、気付いたことや疑問に思ったことを発表し合い、風の働きについて調べる問題を見いだす。	1	思			思考・判断・表現①/【発言分析・記述分析】
前時で児童が見いだした問題を確認する。 車に当てる風の強さを変えて、車の動き方の違いを調べる。(実験1)	2	知			知識・技能③/【発言分析・行動観察】
風の働きについて考え、風の強さの違いによる物の動き方の違いをまとめる。	1	知			知識・技能①/【発言分析・記述分析】
ゴムを伸ばしたときのゴムの力を体感する。 ゴムで動く車をゴールラインに近付けるゲームを行い、ゴムの伸ばし方を変えて車を動かす。 車を動かして、気付いたことや疑問に思ったことを発表し合い、ゴムの働きについて調べる問題を見いだす。(本時)	1	思	◎	○	思考・判断・表現①/【発言分析・行動分析】
前時で児童が見いだした問題を確認する。	2	態	◎		主体的に学習に取り組む態度①/ 【発言分析・行動観察】
ゴムの伸ばし方を変えて、車の動き方の違いを調べる。(実験2)		知	◎		知識・技能③/【発言分析・行動観察】
ゴムの働きについて考え、ゴムを伸ばす長さの違いによる物の動き方の違いをまとめる。	2	知	◎		知識・技能①/【発言分析・記述分析】 知識・技能②/【発言分析・記述分析】
実験結果を生かして、もう一度ゴールラインに近付けるゲームを行う。 風やゴムの働きについて、学んだことをまとめる。		態	◎		主体的に学習に取り組む態度①/ 【発言分析・行動観察】

単元計画について

- ① 単元計画を作成する。
- ② チェックリストの結果を基に手立てを選択し、下記空欄に○印を記入する。
- ③ 単元内で「検討・改善」する活動を行う場面例を上記計画(色付き場面)で把握する。

○印	伸ばす側面	手立て
	思考の基盤	事象提示の際に比較を行うことで、差異点と共通点に気付かせ、児童に疑問を持たせる。
	探究的思考	児童が既に持っている知識や考えを想定し、そこにずれを生じさせるような事象提示を行う。 友達の考えが科学的な考えか否かについて検討させ、非科学的と感じる点について質問を行わせる。
	合理的思考	児童から出てきた気付きや疑問を、教師が価値付け・整理・焦点化し、そこから理由を考えさせる。
	反省的思考	「みちがえる質問集」を活用し、自分や友達の考えを見直す経験を積ませる。
	懐疑的思考	話し合いを通して友達の考えを見直す経験を積ませる。